



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 ヘリオステクノホールディング株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6927 URL http://heliostec-hd.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)齊藤 定一  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役統括管理部長 (氏名)川坂 陽一 (TEL)079(263)9500  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	5,322	20.4	831	7.2	811	2.4	554	2.3
28年3月期第1四半期	4,421	37.8	775	294.8	791	306.1	542	191.4

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 515百万円(△9.3%) 28年3月期第1四半期 568百万円(245.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	30.89	30.76
28年3月期第1四半期	30.41	30.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	12,906	8,890	68.8
28年3月期	14,663	8,645	58.9

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 8,884百万円 28年3月期 8,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		0.00	—	15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期(累計)	9,000	21.0	700	△15.7	700	△15.3	450	△20.3	25.04	
通期	17,700	△31.3	1,050	△11.2	1,040	△11.0	680	△15.8	37.84	

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期1Q	22,806,900株	28年3月期	22,806,900株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	4,838,710株	28年3月期	4,838,710株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期1Q	17,968,190株	28年3月期1Q	17,833,190株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要マーケットについては、G8.5用液晶パネル、さらにはG10用液晶パネルの設備投資需要が前々期より継続し、しかも活発に推移しており、今後も期待できる見通しです。これに続いて、有機ELの設備投資需要が旺盛となる動きが顕著となってまいりました。

このような経営環境のなか、当社グループにおいては、配向膜用フレキシ印刷装置及びUV露光装置光源ユニットの売上が引き続き好調でした。また、人材サービス分野では、国内での雇用改善から人材派遣、設計請負需要が拡大し、売上は順調でした。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期と比べ9億円(20.4%)増収の53億22百万円となり、営業利益は55百万円(7.2%)増の8億31百万円、経常利益は19百万円(2.4%)増の8億11百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は12百万円(2.3%)増の5億54百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。各金額についてはセグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で行っております。

#### ① ランプ事業

ランプ事業につきましては、露光光源用ランプの売上が順調に伸びておりますが、プロジェクター用ランプは伸張せず、また一般照明については年度末需要後の反動により、全体的に低調な推移となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比13.0%減の7億3百万円となりました。

#### ② 製造装置事業

製造装置事業につきましては、大型FPDパネル用の配向膜製造装置の納入に加え、既設置のメンテナンス及び改造の受注が大幅に増加しました。露光装置用光源装置についても大型FPDパネル用のカラーフィルター製造装置の需要に積極的に対応し、G10用装置を開発、納品を完了しました。また、中古装置の海外移設プロジェクト案件も完了しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比36.7%増の37億54百万円となりました。

また、受注は順調に獲得しており、期末現在の受注残高は、44億37百万円となっております。

なお従来、検査装置事業セグメントに属していた製品の大部分は、露光装置用で、今後も変わらないと判断されるため、今期からは製造装置事業セグメントに含めることとし、検査装置事業セグメントは廃止しました。

#### ③ 人材サービス事業

人材サービス事業につきましては、技術者派遣、設計請負及び製造派遣を行っております。技術者派遣、設計請負については、地域密着型の事業の為、スタッフの質的向上、顧客ニーズにあった対応を行い、営業強化を図り安定した業績で推移しました。製造派遣については、企業の繁閑の影響を受けるため、補完できる業種への営業を推進し、派遣者数の維持に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比0.3%減の8億67百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ16億34百万円減少し、102億64百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が7億21百万円、仕掛品が8億15百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億22百万円減少し、26億42百万円となりました。その主な要因は、土地が45百万円、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が57百万円それぞれ減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ17億56百万円減少(12.0%減)し、129億6百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ19億29百万円減少し、34億71百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が1億33百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が2億47百万円それぞれ増加した一方、前受金が22億46百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ73百万円減少し、5億44百万円となりました。その主な要因は、資金の返済により長期借入金が54百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ20億2百万円減少(33.3%減)し、40億16百万円となりました。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億45百万円増加し、88億90百万円となりました。その主な要因は、剰余金の配当2億69百万円を行った一方、親会社株主に帰属する四半期純利益が5億54百万円あったことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、主に上述の資産及び負債の減少を受け、前連結会計年度末に比べ9.9ポイント上昇し、68.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月6日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,158,833	2,437,466
受取手形及び売掛金	4,884,399	5,024,113
商品及び製品	318,558	382,843
仕掛品	2,384,001	1,568,586
原材料及び貯蔵品	487,041	538,401
前渡金	419,213	75,314
その他	246,677	237,850
貸倒引当金	△433	△434
流動資産合計	11,898,292	10,264,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	786,162	758,249
土地	860,626	815,479
その他(純額)	535,045	555,018
有形固定資産合計	2,181,835	2,128,747
無形固定資産		
のれん	53,360	48,024
その他	55,695	56,037
無形固定資産合計	109,056	104,062
投資その他の資産		
その他	538,395	473,834
貸倒引当金	△63,834	△63,834
投資その他の資産合計	474,561	410,000
固定資産合計	2,765,452	2,642,810
資産合計	14,663,744	12,906,952

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,417,229	1,550,246
短期借入金	300,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	219,996	219,996
未払法人税等	289,284	212,595
賞与引当金	286,337	168,503
製品保証引当金	46,931	48,100
前受金	2,294,785	48,247
その他	546,235	823,849
流動負債合計	5,400,800	3,471,537
固定負債		
長期借入金	434,178	379,179
その他	183,719	165,578
固定負債合計	617,897	544,757
負債合計	6,018,697	4,016,294
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,133,177	2,133,177
資本剰余金	2,563,867	2,563,867
利益剰余金	5,047,180	5,332,606
自己株式	△1,211,662	△1,211,662
株主資本合計	8,532,562	8,817,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,374	66,559
その他の包括利益累計額合計	106,374	66,559
新株予約権	6,110	6,110
純資産合計	8,645,047	8,890,657
負債純資産合計	14,663,744	12,906,952



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,421,188	5,322,031
売上原価	2,853,940	3,747,392
売上総利益	1,567,247	1,574,639
販売費及び一般管理費	791,443	743,350
営業利益	775,803	831,288
営業外収益		
受取利息	16	23
受取配当金	5,984	8,032
業務受託手数料	10,600	600
雑収入	4,394	1,847
営業外収益合計	20,995	10,502
営業外費用		
支払利息	4,791	2,702
為替差損	90	26,578
雑損失	195	1,412
営業外費用合計	5,077	30,693
経常利益	791,721	811,097
特別損失		
事務所移転費用	6,883	—
固定資産除却損	415	128
固定資産売却損	—	7,868
特別損失合計	7,298	7,996
税金等調整前四半期純利益	784,422	803,100
法人税、住民税及び事業税	270,184	205,484
法人税等調整額	△28,062	42,667
法人税等合計	242,122	248,152
四半期純利益	542,300	554,948
親会社株主に帰属する四半期純利益	542,300	554,948

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	542,300	554,948
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,740	△39,814
その他の包括利益合計	25,740	△39,814
四半期包括利益	568,040	515,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	568,040	515,133
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	人材 サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	808,266	2,745,496	867,425	4,421,188	—	4,421,188
セグメント間の内部売上高 又は振替高	517	1,184	2,873	4,575	△4,575	—
計	808,783	2,746,681	870,298	4,425,764	△4,575	4,421,188
セグメント利益	16,100	809,095	32,938	858,133	△82,329	775,803

(注) 1 セグメント利益の調整額△82,329千円には、セグメント間取引消去16,692千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△99,022千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	人材 サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	702,937	3,754,108	864,985	5,322,031	—	5,322,031
セグメント間の内部売上高 又は振替高	500	796	2,335	3,631	△3,631	—
計	703,437	3,754,904	867,321	5,325,663	△3,631	5,322,031
セグメント利益	5,272	886,034	46,794	938,101	△106,813	831,288

(注) 1 セグメント利益の調整額△106,813千円には、セグメント間取引消去3千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△106,816千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の事業管理区分の変更に伴い、従来「検査装置事業」に含まれていた事業のすべてを「製造装置事業」に移管しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。